



**YAMATO
HOLDINGS
CO., LTD.**



**ヤマトホールディングスと Palantir、
日本の物流のデジタルトランスフォーメーションを加速させる取り組みを開始**

ヤマトホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：長尾 裕、以下：YHD）と Palantir Technologies Inc.（Co-Founder and CEO：Dr. Alexander Karp、以下：Palantir）は連携し、ヤマトグループのオペレーション変革および物流業界のデジタルトランスフォーメーション（DX）を加速させる取り組みを開始いたします。

今後、YHD は、Palantir のソリューションを活用することで各オペレーションのデジタル化を推進し、ひいては日本の物流業界全体の DX を進めて参ります。

現在、多くの日本企業が DX を重要な経営課題と認識し、その推進に取り組んでいます。しかし、複雑なサプライチェーン、企業内に旧態依然の組織構造や慣習が残っている、社内外に点在する大量のデータの集約・活用方法が定まっていない、といった数々の困難に直面している状況です。

そのような中、YHD は 2020 年 1 月 23 日に経営構造改革「YAMATO NEXT100」を発表し、3 つの基本戦略の達成に向け、3 つの事業構造改革と、「データドリブン経営への転換」を含む 3 つの基盤構造改革を推進しています。YHD は、Palantir のテクノロジーを高く評価し、今後同社のソリューションを社内で活用することでオペレーションの変革を実行し、ひいては日本の物流業界全体の変革をリードすることを目指します。

Palantir との取り組みにおいて、YHD は Palantir Foundry 等のテクノロジーを活用し、その顧客に対して新しい付加価値を生み出すデジタルプラットフォームの構築を目指します。そのうえで、社内外のデータを統合・分析し、高度なデータ分析による物流オペレーションへの変革を目指してまいります。具体的には、リアルタイムの流動データなどの運用データを統合することで、リソースの最適配置、サプライチェーンの合理化、顧客のサービスレベルの向上を目指します。

また YHD は、今後デジタル分野に 4 年間で約 1,000 億円を投資し、デジタルプラットフォームの構築、DX の実現に向けた取り組みを加速させます。さらに 2020 年 4 月 1 日にオープンイノベーション推進のため 50 億円の CVC ファンド（Kuroneko Innovation Fund）設立も行いました。これらの取り組みの一環として、今回、YHD は Palantir への出資も実施いたしました。

本取り組み開始にあたり、各社の代表は以下のようにコメントしています。

ヤマトホールディングス株式会社 代表取締役社長 長尾裕

今回、グローバル市場においてビッグデータの解析のリーディングカンパニーである Palantir とともに、新たな取り組みを開始できることを大変嬉しく思います。

物流分野における当社のデータ基盤とノウハウに、Palantir のテクノロジーを融合することで、当社の DX を加速し、サプライチェーンの最適化ソリューションを広範囲のお客様に提供し、より豊かで、持続可能な社会の実現に貢献したいと考えています。

Palantir Technologies Inc. Co-Founder and CEO Dr. Alexander Karp

Palantir は、最も重要な組織・機関のためにソフトウェアプラットフォームを提供するべく設立されました。物流領域の改革を推進する YHD との共同での取り組みは、日本、そして日本の重要なインフラの支援に対する我々のコミットメントを示しています。

お問い合わせ先

【報道関係】

ヤマトホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション戦略

TEL : 03-3541-4141

Mail: koho@kuronekoyamato.co.jp